

まちのわだい



8月9日
(土)

災害から10年、念願の工事完成 —公共広域河川改修事業(美並町)—

平成16年10月の台風による豪雨災害で大きな浸水被害にあった美並町で岐阜県によって進められてきた長良川改修工事が完成し、郡上市と地元自治会で関係者を招き完成式典を行いました。日置市長は「災害から10年の歳月をかけ念願の工事が完成しました。今後も長良川が災害に強く、市民に親しまれる川になるようにしたいです」と挨拶しました。

また、住民を代表して河合重廣かわあいしげひろさんは「元の川の景観を残しつつ念願の河川工事が完成し心から感謝しています」と挨拶されました。また、来賓と地元園児らが長良川に注ぐ小川に鮎あしを放流し完成を祝いました。



鮎を放流する関係者のみなさん

8月27日
(水)

郡上で「ソフトボール教室」 —大垣ミナモソフトボールクラブが熱心に指導—

ソフトボール女子の日本リーグ2部で戦う「大垣ミナモソフトボールクラブ」が、白鳥町の市合併記念公園市民総合運動広場で「ソフトボール教室」を開き、監督・選手が市内の小中学生の児童生徒41人に練習指導を行いました。

参加したのは、大和・白鳥・高鷲のソフトボール部員とジュニアクラブの選手です。部員のみなさんは、捕球の基礎やバッティング練習、ウォーミングアップの方法などの指導を受け熱心に取り組んでいました。



練習指導を受けた児童生徒のみなさん

7月21日(月)
～30日(水)

郡上高校生徒がインドで研修 —JENESYS 2.0青少年派遣事業—



研修に参加した郡上高校の生徒のみなさん

国が実施するJENESYS 2.0事業の一環として、アジア地域との青少年交流を行うため、郡上高等学校の生徒20人が7月21日(月)～30日(水)の10日間の日程でインドへ派遣され、現地の小中高一貫校3校を訪問し、地元生徒との交流や郡上の魅力の紹介、下水処理施設や文化施設等の視察を行いました。また、出発前の7月16日(水)に、派遣生徒全員が市長への表敬訪問を行い、帰国後の8月20日(水)には、派遣生徒の代表2人が研修の報告を行いました。参加した生徒からは、「最初はコミュニケーションがとれるか不安があったが、研修を通じてもっとお互いを理解しよう、分かりやすく話そうという姿勢が自然とできるようになりました」との感想がありました。

8月9日
(土)

地域の大切な鉄道が80周年 —越美南線全線開通80周年記念イベント—



くす玉割りにより祝う関係者のみなさん

越美南線の全線開通80周年を記念して郡上八幡駅で記念イベントが開催されました。セレモニーでは、長良川鉄道の社長でもある日置市長が「清流に沿って走る観光鉄道として、これからも大切に守り続けていきたいと思います」と挨拶しました。

また、記念としてテープカットとくす玉割りが関係者により行われた後、北濃駅までを往復する記念列車が発車しました。イベントでは、車両部品のオークションやバザーなどが行われ大勢の鉄道ファンや市民が訪れ、賑わいました。

TOWN TOPICS

August ~ September

8月31日
(日)

話題の大南信也氏を招いて

—HUB GUJO主催の講演会を開催—

人口6千人の町が「せかいのかみやま」になった理由と題して、徳島県神山町NPO法人グリーンバレー理事長大南信也氏を招いた講演会が八幡防災センターで行われました。講演会は、市内で起業支援等の活動を行っているHUB GUJOの主催で開催されました。徳島県神山町はIT企業のサテライトオフィス誘致で全国から注目を集めており、その中心的な役割をNPO法人グリーンバレーが行っています。講演会に参加した約120人は熱心に聞き入っていました。講演会の後、市内で地域づくり活動に関わるメンバーによるパネルディスカッションも行われました。



熱心に大南理事長の講演を聴く参加者のみなさん

9月8日
(月)

先人の志に感謝の念を持ち続ける

—「農民の父」可児義雄生誕120年祭—

八幡町那比で幼少期を過ごした労働運動家の可児義雄(1894～1935年)は、大正から昭和初期に、秋田県内の労働運動で中心人物となって活動し、当地では「農民の父」「現代の義民」として慕われています。郡上市でも平成17年に福常寺(八幡町那比)に有志による顕彰碑が建立され、平成22年には犬山市の遺族の希望で同寺に墓も移されました。このたび顕彰会主催で可児義雄の生誕120年祭が営まれ、関係者約50人が参列し、読経と献花、可児義雄作詞の運動歌の合唱などが行われ、その偉業をしのびました。



顕彰碑に白菊を献花する参列者のみなさん

8月27日
(水)

消費者トラブル防止講座を開催

—悪徳商法の手口とその対処方法—



生き生きサロンでの発表の様子

郡上市内において消費者トラブル防止講座を開催しました。消費者トラブル防止講座は郡上市職員による出前講座として実施しており、今回は、白鳥町で活動している大島7号組生き生きサロンのみなさんが講座の場を企画し、市職員と岐阜県消費者啓発推進員「劇団みちしるべ」の説明や寸劇で、悪徳商法の事例とその対処方法について学びました。講座の最後には、「あなたのお金は誰のもの、だまされません絶対に!」と参加者全員で唱和し、消費者トラブルに関する知識を深めました。

9月8日
(月)

いつまでもお元気で

—渡邊ふみ子さんの満100歳をお祝い—



日置市長よりお祝い状や花束が手渡されました

八幡町のせせらぎ緑風苑で、満100歳を迎えられた八幡町安久田の渡邊ふみ子さんのお祝い会が行われ、日置市長よりお祝い状や花束が手渡されました。日置市長は「おめでとうございます。これからも元気で長生きしてください」と渡邊さんに語りかけ、渡邊さんは「ありがとうございます」と感謝を述べられました。

渡邊さんは、大正3年9月10日生まれ。95歳ごろまで農作業をされていたそうです。いつまでもお元気で。

TOWN TOPICS

August ~ September